

県内の一大露地栽培地域「屏風山」地区

— 青森県つがる市 —

青森県農林水産部農村整備課 水 木 健 裕

I. はじめに

表紙写真を飾る屏風山地区は、青森県つがる市に広がる県内でも有数の畑作地帯です。ニンニクやゴボウ、ナガイモ等の野菜のほか、昼夜の寒暖差や水はけの良さを生かした糖度の高いスイカやメロンの生産も行われています。青森県のメロンの生産は令和4年時点で全国第6位の出荷量となっています。令和元年には東京都新宿区神楽坂に、つがる市が運営する日本初のメロン専門工房「果房 メロンとロマン」(写真-1)がオープンしたことをご存知の方もおられるのではないのでしょうか。

本報では屏風山地区について、その開発の歴史を交えて紹介します。



写真-1 アンテナショップ 果房 メロンとロマン

II. 国営事業に至るまで

津軽平野の北西に位置する屏風山地区(図-1)は、日本海の七里長浜に沿って東西4km、南北13kmにおよぶ標高20~30mの広大な砂丘地帯です。

この地域では、かつて日本海から吹きすさぶ潮風や飛砂がたびたび農地や人々の生活に被害を及ぼしていました。このようなことから、藩政時代に津軽藩が、この天然砂丘に防風・防砂林としてクロマツを植林しました。このクロマツ林の様相が、あたかも津軽平野を屏風で囲ったようであったことから屏風山の名が付



図-1 屏風山地区位置図

いた、と言われています。その後、現在に至るまで津軽平野に広がる約12,000haの田畑や住家を保護してきました。しかし、この保安林地帯を除いた広大な屏風山の砂丘地帯は、一部家畜用の採草地に利用されている以外は、その大部分が砂地であることから未利用地のままとなっていました。

このため、昭和31年から土地の有効活用を図るための調査を行った結果、砂丘地帯の土地でも作物栽培が可能という結論に至り、昭和41年に国の開拓パイロット事業の調査地域に指定されました。調査は、東北農政局津軽総合開発調査事務所が担当し、昭和42年度から3カ年計画で水田計画として本格的な調査が開始されました。昭和44年度に基本計画がとりまとめられましたが、米の生産過剰による開田抑制策により開田計画が中止となりました。しかし、地元関係者の強い要望により昭和45年から畑地開発として、調査計画が進められました。

III. 事業の実施と高収益・高品質作物の生産

昭和47年度から平成2年度まで行われた国営農地開発事業では、山林原野などの未墾地を農地に開拓し、末端のスプリンクラを含む受益面積817haの整備が行われました(写真-2)。

また、保水力の乏しい地域には粘性土客土を実施すると同時に、排水性の悪い場所では暗渠排水、排水路の整備が行われたほか、一年を通じて強風地帯である



写真-2 スプリンクラ灌溉

ことからクロマツの植林とともに防風ネットを設置し、防風対策も行われました。

その後、時間の経過に合わせ施設の老朽化が進んだため、国営事業の完了から18年後の平成20年度から平成28年度まで、揚水機場や暗渠排水の更新等を行う県営畑地総合整備事業が実施されました。

また、暗渠排水の更新に当たっては弘前大学が行った調査結果に基づき、深暗渠による効率的な灌溉排水手法の確立や合理的な輪作体系を構築し、特にナガイモについては、塊茎障害が抑制され規格外が減少し、上位等級が増加しました（写真-3）。



写真-3 ナガイモの塊茎障害の抑制

ニンニクについても、事業を契機として、市場での評価が高い「水溫にんにく」の出荷体制を強化するため、水溫貯蔵施設を追加整備（写真-4）するなどし、高収益作物の生産拡大と品質向上を実現してきました。

このような産・官・学が連携した取組みのおかげで、現在、屏風山地区は津軽地域を代表する畑作物の一大産地となっています。

屏風山地区で主に作付けされている作物は、①ニンニク、②ゴボウ、③ダイコン、④ナガイモ、⑤メロン、⑥スイカです。ニンニク、ゴボウ、ダイコン、ナガイモについては青森県の出荷量がいずれも全国トップ3に入る主力農産物です。

スイカ栽培に関しては昭和30年代半ばには本地区の一部で本格的に始まったとされていますが、国営事業や県営事業による畑地灌溉の整備により「屏風山スイカ」（写真-5）等のスイカ生産面積が拡大しました。



写真-4 集出荷水溫施設



写真-5 屏風山スイカの生産

青森県の出荷量は令和4年時点で全国第14位となっています。

IV. 地元での取組みについて

屏風山地区の営農を支えている屏風山土地改良区は、令和5年に設立50周年を迎えました。多面的機能支払等の地元組織と協力しつつ、農村環境の保全にも取り組んでいるほか、令和3年度からは補助事業を活用し、老朽化したスプリンクラ等の改修を進めています。そのほか、県民に対する土地改良区の普及啓発活動として、集出荷施設やスプリンクラに水を圧送するポンプ場の見学会なども実施しています。

これからも、全国に高品質な青森県産品を届けるとともに、地域が一丸となって先人達によって築かれてきた農村環境を守っていきます。

参 考 文 献

- 1) 東北農政局屏風山開拓建設事業所：事業誌屏風山（1991）
- 2) 青森県農林水産部農産園芸課：あおもりの野菜っこ（令和4年度版、令和5年度版）（2023、2024）